

災害時のトイレ、 どうする？



-
- 1 災害発生、その時トイレは？
 - 2 あって良かったマンホールトイレ
 - 3 安心できるトイレ環境に向けて
 - 4 トイレを使い始める前に

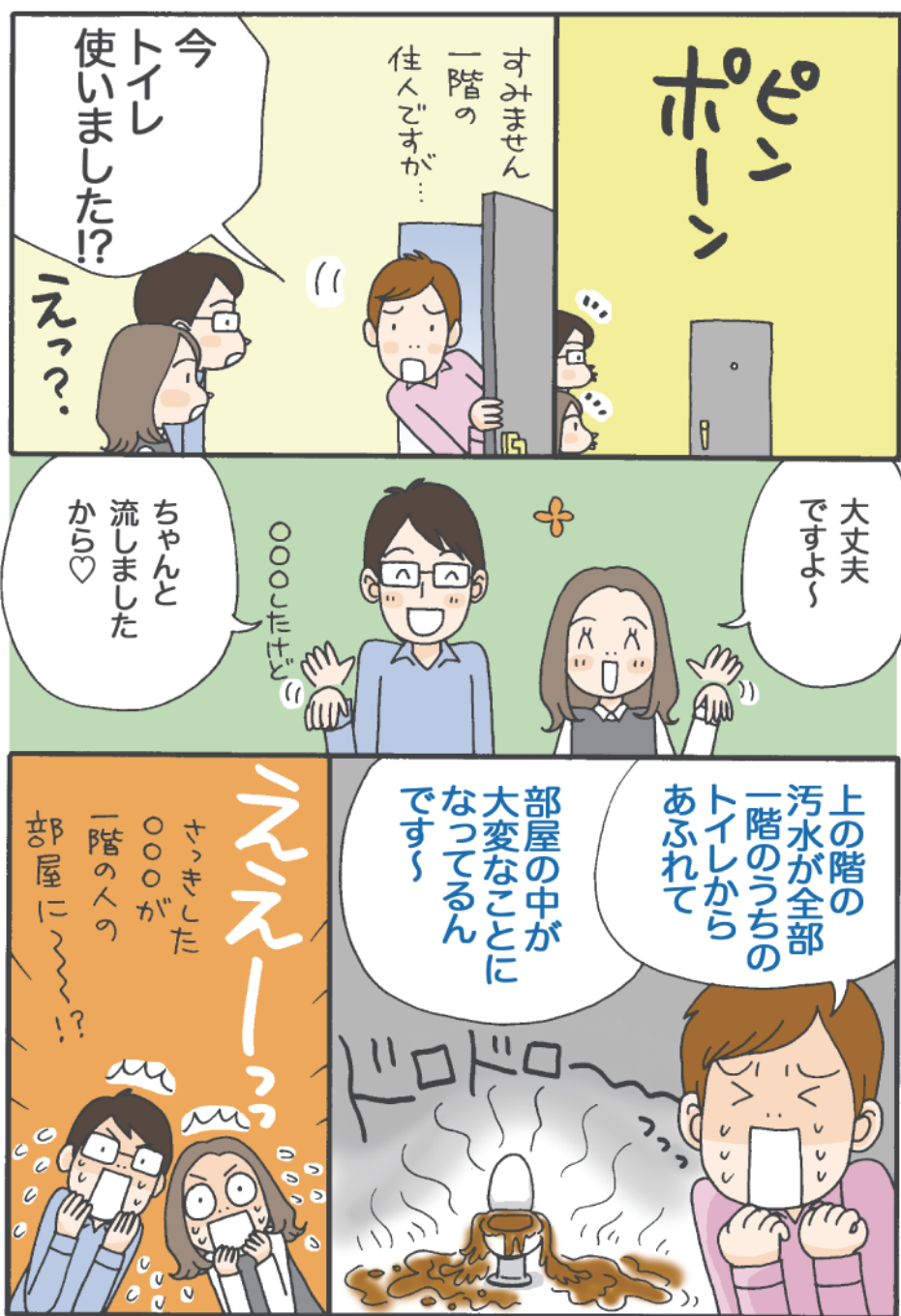
1 災害発生、その時トイレは？ 〈戸建住宅の場合〉





共同住宅の場合





考えてみましょう

Q 1 水洗トイレを使用する前に何を確認しますか？

Q 2 上下水道が使用できない時はどのように対処しますか？

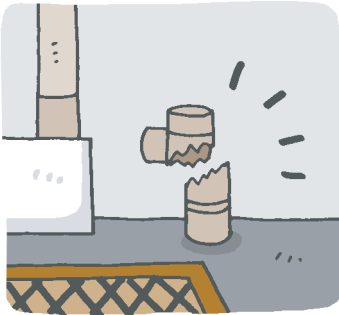
覚えておきましょう！

Q 1

水洗トイレを使用する前に何を確認しますか？

A 1

停電、断水、排水管の破損などを確認しましょう。



排水管のチェック方法は14ページへ



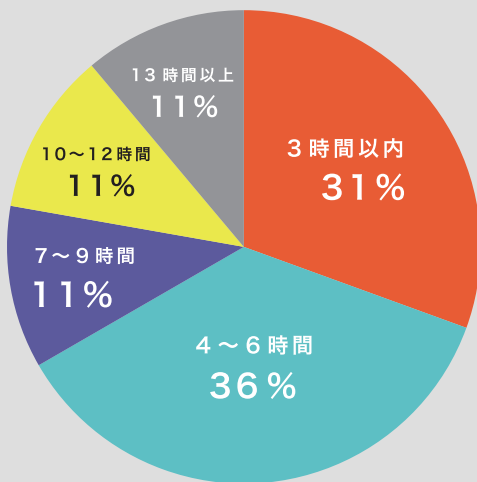
共同住宅の場合はトイレの使用ルールをあらかじめ話し合っておきましょう

コラム

あなたは一日に

何回トイレに行く？

私たちは排泄を我慢することはできません。東日本大震災では発災から3時間以内に3割の人がトイレに行きたくなったという報告もあります。災害が起きたらトイレの準備を行い、我慢しないようにしましょう。



発災から何時間でトイレに行きたくなったのか（回答：36人）
調査：日本トイレ研究所



災害が起これば、トイレも被災する



① ② ④ 出典：避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン，平成 28 年 4 月内閣府，
③ 出典：東松島市ホームページ

A 2

災害用トイレを使いましょう。

Q 2

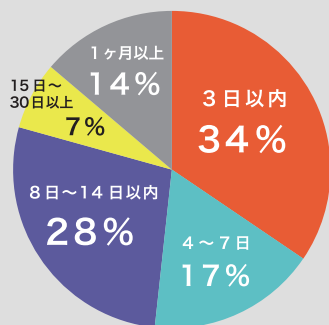
上下水道が使用できない時はどのように対処しますか？

コラム

仮設トイレはいつ来るの？

災害用トイレとして真っ先に思いつく仮設トイレが、避難所にすぐに届くとは限りません。東日本大震災の時には、避難所に行きわたるまで3日以内と回答した自治体は3割でした。

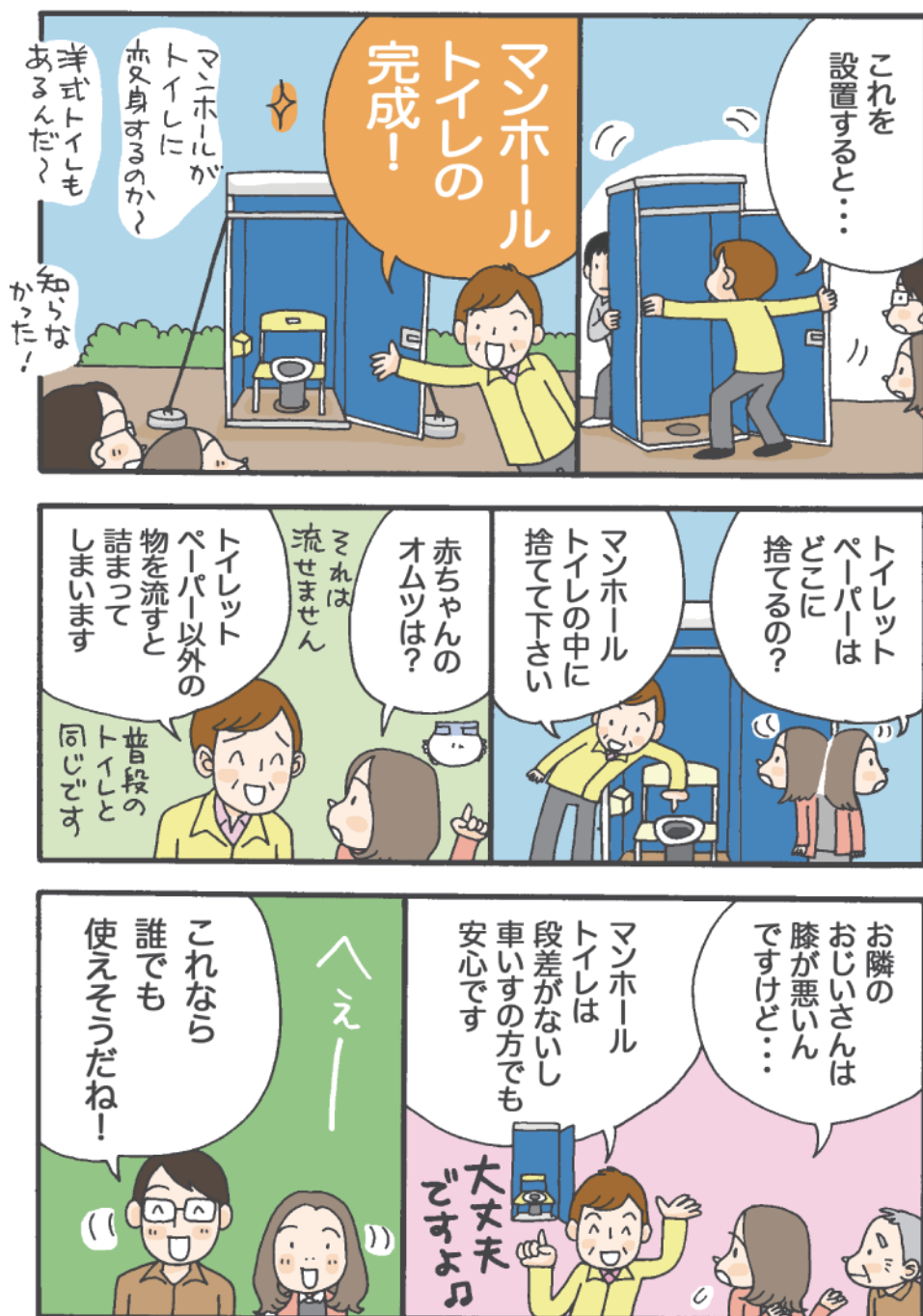
災害時には携帯トイレ、簡易トイレ、マンホールトイレも使いながら、トイレ環境を確保することが大切です。防災訓練等に参加し、どんな災害用トイレがあるのか、どのように使うのか、考えてみましょう。



仮設トイレが被災自治体の避難所まで行きわたる日数
調査：名古屋大学エコトピア科学研究所
岡山朋子
(協力：日本トイレ研究所)

2 あって良かったマンホールトイレ





考えてみましょう

- Q 3 マンホールトイレを設置するため、何を知っておきたいですか?
- Q 4 マンホールトイレに何を流して良いと思いますか?

覚えておきましょう！

Q 3

マンホールトイレを設置するため、何を知っておきたいですか？

A 3

トイレになるマンホール場所、備品の保管場所、組み立て方法を覚えておきましょう。防災訓練などで実際に組み立ててみましょう。

トイレになるマンホールの場所



提供：東松島市

備品の保管場所



提供：堺市



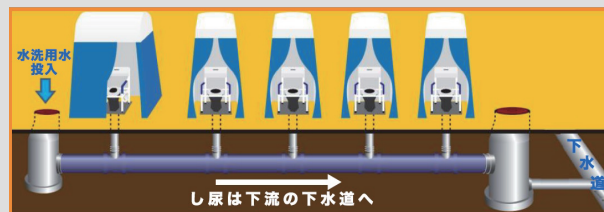
マンホールトイレを組み立てる前には、周辺の地盤に異常がないか確認しましょう。

コラム

マンホールトイレって

どうなっているの？

マンホールトイレは、避難所等のマンホールの上に、便器や仕切を設置するだけで、すぐに使えるトイレです。排泄物は下水道へ直接流れていくので、衛生的で臭いも少ないトイレです。段差はなく、洋式トイレもあるので、お年寄りや子どもにも使いやすいトイレです。



提供：熊本市

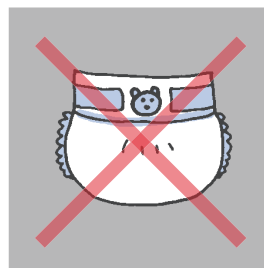
避難所におけるマンホールトイレの整備状況については、お住まいの市町村等へお問い合わせください。



トイレがなければ、生きていけない



マンホールトイレによっては、使用後にポンプで水を流す必要があります。



A 4

普段のトイレと一緒に、トイレットペーパーです。

Q 4

マンホールトイレに何を流して良いと思いますか？

コラム

活躍するマンホールトイレ

東日本大震災の時は宮城県東松島市で、熊本地震の際は熊本県熊本市で実際に使用されました。



提供：北九州市



提供：恵那市

また、訓練の一環として、イベント等でも実際に使われている例があります。



提供：東松島市



提供：熊本市

3 安心できるトイレ環境に向けて





考えてみましょう

Q 5 安心してマンホールトイレを使うため、どのようなことを心がけますか？

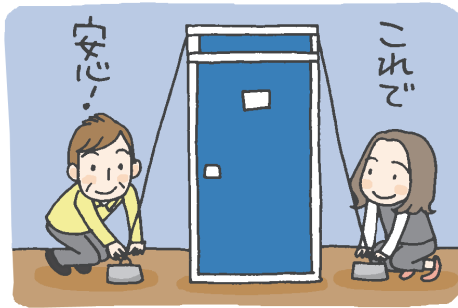
覚えておきましょう！

Q5

安心してマンホールトイレを使うため、どのようなことを心がけますか？

A5

マンホールトイレを清潔に保ち、防犯対策も行いましょう。また、マンホールトイレが風雨で飛ばないようにしっかりと固定しましょう。



男女が分かるようにしましょう。



提供：北九州市

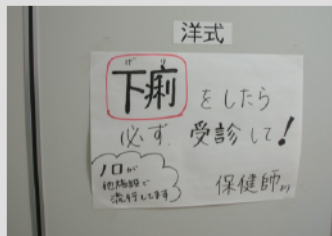
安心できるトイレが、健康を守る

コラム

不衛生なトイレは

体調不良になる

トイレが汚い、臭い、怖い、遠い、段差があるなどで使い勝手が悪いと、あなたはトイレに行かなくても済むように、水分摂取や食事を控えてしまうかもしれません。これらが原因で体調を崩したり、エコノミークラス症候群を発症したりすると、場合によっては、死にいたりします。トイレが安心して使えるように努めましょう。



トイレに貼られた呼びかけチラシ



避難所に掲示されたトイレ当番表

4 トイレを使い始める前に

トイレを使い始める前には、役所のホームページ等で、下水道の使用に制限がかかっていないか等を確認しましょう。宅地内の汚水ますの蓋を開けて水が流れているか自分で確認することもできます。マンション等の共同住宅に住んでいる場合は、管理組合等への確認も行いましょう。

トラブルがあれば、排水設備業者へ点検をお願いしましょう。

トイレは下水道の入口です。普段何気なく使っているトイレの先には下水道があり、私たちの健康を守るために大きな役割を果たしています。毎日の暮らしで意識することの少ない下水道についても、改めて考えてみませんか。



【下水の使用可否の確認手順】

主に戸建住宅を想定

必ず2名で
実施してください。

① 宅地内に台所、トイレ、浴室ごとに汚水枘がありますので、汚水枘の蓋（※1）をマイナスドライバーで開けます。 ※1 蓋は直径20cm程度、白色のものが多い 	② ご自宅の台所の流し等から水（※2）を流します。 ※2 水は、1～3ℓ程度を目安に流してください。 
③ 汚水枘に先ほど流した水が流れてきているか確認します。（※3） ※3 ②と同時に、もう一人の方が監視してください。 	④ 流れてきた水が汚水枘に溜まったままにならないか確認します。（※4） ※4 手順①～③を、トイレ、浴室についても同様に実施してください。 

汚水枘に水が溜まったままでなければ、下水道が使用できます。

提供：益城町浄化センター

コラム

自分でできる排水管チェック

熊本地震の際に、宅地内の排水管が壊れてしまっていたため、下水道は復旧していても、トイレが使えない状況がありました。そこで、益城町は「下水の使用可否の確認方法」（左図）の案内を作成し、住民に周知しました。

災害が起これば、トイレも被災する
トイレがなければ、生きていけない
安心して暮らすトイレが、健康を守る



※ 本冊子の内容は動画にもなっています。 国交省YouTubeチャンネル 国交省政策チャンネル

平成 29 年 3 月 国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部

イラスト：井上きみどり デザイン：木下麻子